

## 本書の特長

本書は、高校入試における口語文法の問題に対して、柔軟かつ完璧に対応できるようにすることを主な目的としています。そのために、次のような考え方によって作成しました。

- ① 入試に頻繁に出題される文節分け・単語分けの問題は、文法の入口と言えるものですが、それらが完全にできれば、学校文法全体を、一応学習して理解していると判断できる性質のものですから、出口とも言えると考えられます。そのため、單に導入的に易しい問題を並べるだけでは、出口の役割は果たしません。そこで、この分野の問題量を多くするとともに、難度の高いものも系統的に演習できるようにしました。ですから、本書における文節分け・単語分けの問題は、受験直前用としても十分手ごたえのあるものとなっています。
- ② 学校の教科書・文法書・辞書などによって、文法用語・分類方法・解釈などの違いが少なからずあります。ことばができるあがったあとに文法が決められたわけですし、ことばは時代とともに変化する生き物のようなものですから、分類の仕方や解釈の仕方に違いが出てくるのは当たり前のことと言えるでしょう。しかし、みなさんが文法を学ぶにあたって、一通りのごく大ざっぱな解説があるだけでは、誤解や混乱を生むことになると見えられます。そのため、解説に注を設け、分類の仕方の違い・異説・例外などを明記することにしました。これは、入試の出題の仕方(学校の教科書によって、分類方法に違いのあるものや、解釈に違いのあるものは問題の出し方に制約を受けます)を把握する材料にもなるでしょう。
- ③ 用言・助動詞の活用や、助詞・助動詞の接続は、文法を学ぶ上で、一つの門閥と言えるでしょう。このときに詳しい資料がなければ、つまずく可能性が大きくなります。そのため、各章で詳細に明記するとともに、調べやすくするために、巻末でもう一度整理してまとめることにしました。この付録として設けた資料によって、辞書や他の文法書で調べる必要がなくなると思います。また、用言の活用の演習問題は、問題量を多くするとともに、系統的に出題していますので、確実に覚えることができると思います。
- ④ 「文節の働きと相互の関係」と「連文節・文の成分」は、本来、連続して学ぶべきものでしょうが、「文節の働きと相互の関係」を知らないと、品詞が学べないと同時に、品詞の働きを知らないと、「連文節・文の成分」が学びにくいという事情があります。また、入試問題の傾向として、品詞分類などの出題率が高いという事情もあります。そのため、文全体の構造を知るための「連文節・文の成分」は、最終章に置くことにしました。ですから、連文節の考え方も無理なく学習できると思います。

## 目次

|                      |    |   |    |
|----------------------|----|---|----|
| <b>1 文節・単語</b>       | 2  | <b>8 接続詞・感動詞</b>                                  | 34 |
| <b>2 文節の働きと相互の関係</b> | 7  | <b>9 助動詞</b>                                      | 36 |
| <b>3 単語の分類と品詞</b>    | 13 | <b>10 助詞</b>                                      | 43 |
| <b>4 動詞</b>          | 19 | <b>11 紛らわしい単語</b>                                 | 54 |
| <b>5 形容詞・形容動詞</b>    | 24 | <b>12 連文節・文の成分</b>                                | 61 |
| <b>6 名詞・代名詞</b>      | 29 | <b>付録</b>   |    |
| <b>7 副詞・連体詞</b>      | 31 | ① 助動詞の接続<br>② 助詞の接続<br>③ 用言の活用の識別<br>④ 用言・助動詞の活用表 |    |

# 1 文節・単語

## 1 文節・単語

ことばの単位（文章→段落→文→文節→単語）

(1) 文 内容の上で、一つのまとまった考え方や気持ちを表し、形の上で、終わりを言い切っている（句点「。」で終わる）一続きのことば。

(2) 文節 実際にことばを話すとき、意味がわからなくならないよう、また、不自然にならないように、できるだけ短く区切った一続きのことば。

(3)

ことばは 生きて 動いて います。

ことばは 社会が 進むに つれて 育ちます。

美しい ことばから 美しい 社会が 生まれます。

注 「私はネ 今日はネ とてもネ 気分がネ さわやかだネ」というように、「ネ」や「サ」を間に入れて自然にならないところが文節の切れ目となる。

単語 文節を細かく分けて、それ以上分けると、意味がなくなるか、ことばとして役目を果たさなくなるというところまで区切ったことば。

ことば は 生きて 動いて います。  
ことば は 社会 が 進む に つれ て 育ち  
ます。

美しい ことば から 美しい 社会 が 生まれ

注 「山桜・受け取る・夜明け・早起き」などの複合語や、「お客・山田さん・春めく・学者ぶる・積極性」などの派生語も一単語である。

注 「が・は・も・を・ます・から・て」などは、いろいろな単語につき、それぞれ独自の意味を表すので、これらも単語である。

注 「私は美しい。」の「は」のように、一文字で一単語という場合や、「美しい」などのように、一単語で一文節という場合がある。

1 次のそれぞれの文は、いくつの文節からできているか。文節の分かれ目に線を引き、その数を答えよ。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> (1) 葉が落ちた。         | <input type="checkbox"/> (2) 落ち葉が積もる。        |
| <input type="checkbox"/> (3) 母がセーターを編みます。   | <input type="checkbox"/> (4) 母は編み物が好きだ。      |
| <input type="checkbox"/> (5) 事情を先生に話しました。   | <input type="checkbox"/> (6) 話し手の意図をつかむ。     |
| <input type="checkbox"/> (7) 暗い部屋で寝る。       | <input type="checkbox"/> (8) 真っ暗な部屋で寝る。      |
| <input type="checkbox"/> (9) 犬といっしょに散歩する。   | <input type="checkbox"/> (10) 散歩がてらに友人の家に寄る。 |
| <input type="checkbox"/> (11) 先生にしかられる。     | <input type="checkbox"/> (12) 先生がたの話を聞く。     |
| <input type="checkbox"/> (13) 今日は良いお天気です。   | <input type="checkbox"/> (14) 十月二十日は僕の誕生日です。 |
| <input type="checkbox"/> (15) 机の位置を動かす。     | <input type="checkbox"/> (16) 部屋の中を動き回る。     |
| <input type="checkbox"/> (17) 将来を不安に思う。     | <input type="checkbox"/> (18) 昔のことと思い出す。     |
| <input type="checkbox"/> (19) 情報を正確に伝える。    | <input type="checkbox"/> (20) 昔ばなしを語り伝える。    |
| <input type="checkbox"/> (21) 若さを取り戻す。      | <input type="checkbox"/> (22) 部屋の中を動き回る。     |
| <input type="checkbox"/> (23) 壁紙をはがす。       | <input type="checkbox"/> (24) 薬の力で若返る。       |
| <input type="checkbox"/> (25) ポスターがひきはがされる。 |  |

3 1 文節・単語

|      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| (71) | (61) | (51) | (41) | (31) | (21) | (11) | (1)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (72) | (62) | (52) | (42) | (32) | (22) | (12) | (2)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (73) | (63) | (53) | (43) | (33) | (23) | (13) | (3)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (74) | (64) | (54) | (44) | (34) | (24) | (14) | (4)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (75) | (65) | (55) | (45) | (35) | (25) | (15) | (5)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (76) | (66) | (56) | (46) | (36) | (26) | (16) | (6)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (77) | (67) | (57) | (47) | (37) | (27) | (17) | (7)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (78) | (68) | (58) | (48) | (38) | (28) | (18) | (8)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (79) | (69) | (59) | (49) | (39) | (29) | (19) | (9)  |
|      |      |      |      |      |      |      |      |
| (80) | (70) | (60) | (50) | (40) | (30) | (20) | (10) |
|      |      |      |      |      |      |      |      |

□ (72) あの人があつてくるわけがない。  
□ (73) 騒いでいるうちに、すっかり忘れてしまった。  
□ (74) □ (75) 君の言うとおりにやることにしたよ。  
□ (76) 聞くところによると、彼は外国へ行くらしい。  
□ (77) これはみんなのためにやつたことだ。  
□ (78) そんなつもりでしたことではない。  
□ (79) 手紙は人の心と心を結ぶ、美しい言葉の架け橋と言えるでしょう。  
□ (80) 見ているのか見ていないのかわかりませんが、朝からテレビをつけっぱなしの家庭がありますね。  
——トであると言えよう。

|            |              |           |            |            |            |            |                         |           |            |            |            |            |                |           |             |            |             |            |                    |               |            |             |            |                   |                |            |
|------------|--------------|-----------|------------|------------|------------|------------|-------------------------|-----------|------------|------------|------------|------------|----------------|-----------|-------------|------------|-------------|------------|--------------------|---------------|------------|-------------|------------|-------------------|----------------|------------|
| (55)       | (53)         | (51)      | (49)       | (47)       | (45)       | (43)       | (41)                    | (39)      | (37)       | (35)       | (33)       | (31)       | (29)           | (27)      | (25)        | (23)       | (21)        | (19)       | (17)               | (15)          | (13)       | (11)        | (9)        | (7)               | (5)            |            |
| 人が<br>来る。  | 家から<br>来る。   | 家を<br>出る。 | 家を<br>出よう。 | 家を<br>出れば。 | 家を<br>出ます。 | 家を<br>出る。  | 学生の<br>服を<br>着るだ<br>ろう。 | 服を<br>着よ。 | 服を<br>着れば。 | 服を<br>着よう。 | 服を<br>着れば。 | 服を<br>着る。  | 感想文を<br>書き始める。 | 文を<br>書く。 | 文を<br>書きます。 | 文を<br>書けば。 | 文を<br>書こう。  | 文を<br>書く。  | おそらく<br>鳥が<br>飛ぼう。 | 渡り鳥が<br>飛び去る。 | 鳥が<br>飛べば。 | 鳥が<br>飛びます。 | 鳥が<br>飛ぶ。  | たぶん<br>雨が<br>降ろう。 | にわか雨が<br>降り注ぐ。 | 雨が<br>降れば。 |
| (56)       | (54)         | (52)      | (50)       | (48)       | (46)       | (44)       | (42)                    | (40)      | (38)       | (36)       | (34)       | (32)       | (30)           | (28)      | (26)        | (24)       | (22)        | (20)       | (18)               | (16)          | (14)       | (12)        | (10)       | (8)               | (6)            |            |
| 人が<br>来ない。 | 実家を<br>飛び出る。 | 家を<br>出よ。 | 家を<br>出で。  | 家を<br>出た。  | 家を<br>出る。  | 家を<br>出ない。 | 学生服を<br>着こなす、<br>とき。    | 服を<br>着る。 | 服を<br>着て。  | 服を<br>着た。  | 服を<br>着る。  | 服を<br>着ない。 | 文を<br>書いた。     | 文を<br>書け。 | 文を<br>書いて。  | 文を<br>書く。  | 文を<br>書かない。 | 鳥が<br>飛んで。 | 鳥が<br>飛べ。          | 鳥が<br>飛んだ。    | 鳥が<br>飛ぶ。  | 鳥が<br>飛ぶとき。 | 雨が<br>降つた。 | 雨が<br>降って。        | 雨が<br>降る。      |            |

5 1 文節・单語

|               |        |
|---------------|--------|
| 私は 読めない。      | □ (47) |
| 私は 読めなかろう。    | □ (48) |
| 私は 読めなくなつた。   | □ (49) |
| 私が 読めない とき。   | □ (50) |
| 私は 読めなかろう。    | □ (51) |
| 私は 読めなかつた。    | □ (52) |
| 私は 読めなければ。    | □ (53) |
| 私は 読めなくて なつた。 | □ (54) |
| 私は 読めなくて なつた。 | □ (55) |
| 私は 行きたくは ない。  | □ (56) |
| 彼が 行きたければ。    | □ (57) |
| 彼が 行きたければ。    | □ (58) |
| 彼が 行きたい とき。   | □ (59) |
| 彼が 行きたい とき。   | □ (60) |
| 先生が 来られる。     | □ (61) |
| 先生が 来させる。     | □ (62) |
| 家に 来させる。      | □ (63) |
| 犬に かまれた。      | □ (64) |
| 水と なる。        | □ (65) |
| これより あが よい。   | □ (66) |
| 風が 立つ。        | □ (67) |
| 宿題を やつて おく。   | □ (68) |
| 外は 寒いが、出かける。  | □ (69) |
| 寒いので、風邪を ひいた。 | □ (70) |
| 笑いながら しゃべる。   | □ (71) |
| 寒度こそ がんばる。    | □ (72) |
| 子供でも 知つて いる。  | □ (73) |
| 地平線まで 続いて いる。 | □ (74) |
| 十分間 勉強したきりだ。  | □ (75) |
| 返事ぐらい しろよ。    | □ (76) |
| 見るだけで 買わない。   | □ (77) |
| なぜ 君だけ 行かないの。 | □ (78) |
| その 本は 誰の。     | □ (79) |
| さあ、今から 出かけるぞ。 | □ (80) |
| 私は そこへは 行かない。 | □ (81) |
| 失敗も あるさ。      | □ (82) |
| 道路で 遊ぶな。      | □ (83) |
| 私が ここに いない。   | □ (84) |
| 私が ここに いない。   | □ (85) |
| 君だけ 行かないの。    | □ (86) |
| なぜ 君だけ 行かないの。 | □ (87) |
| その 本は 誰の。     | □ (88) |
| さあ、今から 出かけるぞ。 | □ (89) |
| 私は そこへは 行かない。 | □ (90) |
| 失敗も あるさ。      | □ (91) |
| 道路で 遊ぶな。      | □ (92) |
| 私が ここに いない。   | □ (93) |
| 君だけ 行かないの。    | □ (94) |
| なぜ 君だけ 行かないの。 | □ (95) |
| その 本は 誰の。     | □ (96) |
| さあ、今から 出かけるぞ。 | □ (97) |

|     |          |
|-----|----------|
|     | (1)      |
| ス   | ア 煙の     |
| モ   | イ 粒の     |
| の   | ウ 中で     |
| で   | エ ごく小さな  |
| る。  | オ ものは    |
| の   | カ なかなか   |
| で   | サ ただよい   |
| ある。 | 力 かななか   |
|     | (2)      |
| ス   | キ 地面に    |
| モ   | シ ながら    |
| の   | ア 汽車や    |
| で   | ス 落ちないで  |
| る。  | イ 工場の    |
| の   | ケ さすらいの  |
| で   | ウ 煙突から   |
| る。  | セ 旅を     |
| の   | エ 続けていく。 |
| で   | オ 黒い     |
| る。  | カ 煙は     |
| の   | シ 集まつた   |
| で   | サ 粒が     |
| る。  | エ 固体の    |
| の   | ウ 出てくる   |
| で   | オ サ粒が    |
| る。  | カ ケ ような  |
| の   | シ ク炭の    |
| で   | エ タいてい   |
| る。  | オ キ 汽車や  |
| の   | カ シ ながら  |
| で   | シ エ 地面に  |
| る。  | カ キ 地面に  |

4 次のそれぞれの文は、文節に区切つてあるが、切り方を間違えてい  
る所が、それぞれ三か所ずつある。その部分の記号で答えよ。ただし、  
一文節にすべきところを二つに分けている場合は、その二つの記号を  
答えよ。

**5** 次のそれぞれの文は、いくつの単語からできているか。その数を答えよ。

□ (1) きのう遠足に行つて、牧場で馬を見た。  
□ (2) 猿が一本の赤いろうそくを拾いました。  
□ (3) 弟すずめもしつかりと飛び立ちました。  
□ (4) どう、アリヨーシャ、上の方は気持ちがいいでしょう。  
□ (5) 突然、雪が降つてきた。

□ (6) 日本の文字には、表意文字と表音文字がある。  
□ (7) 三人は、すばやく立つておじぎをしました。  
□ (8) みんなはしばらくしんとしてしまつた。  
□ (9) やがて冬も過ぎ、あたたかい春が訪れる。  
□ (10) 久しうりのクラス会は、たいへん楽しかつた。  
□ (11) 気持ちが朗らかになつてゆくのをおぼえた。

**6** 次のそれぞれの文から、単語に区切ったものとして適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

|      |     |
|------|-----|
| (7)  | (1) |
|      |     |
| (8)  | (2) |
|      |     |
| (9)  | (3) |
|      |     |
| (10) | (4) |
|      |     |
| (11) | (5) |
|      |     |
|      | (6) |